



令和2年10月2日
北区立東十条小学校
校長 中村 都士治

与論交流と肖像画、次につなげて

校長 中村 都士治

今週に入り、朝晩はだいぶ涼しくなってきました。校庭では「秋分」を過ぎても、去り行く季節を惜しむようにまだアサガオが花を咲かせています。

先月18日(金)は、毎年行っています「与論盟約記念集会」を実施しました。これは、昭和55(1980)年9月20日に鹿児島県にあります与論町の3小学校(与論小学校・茶花小学校・那間小学校)と東十条小学校が姉妹校の盟約を結んだことに始まります。今年は、この姉妹校盟約から40年目にあたります。ですから、年度当初の計画では、6月中旬には与論3小学校の5・6年生の児童が本校を訪れて体験を行ったり、8月下旬には本校からも代表児童が与論町を訪問し式典の参加や海洋教育を体験する計画でした。また、9月の記念日には、40周年の記念式典も計画していましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策により、1年延期をしました。そのため、今年は例年実施している「与論盟約集会」となりました。それでも、集会当日に向けて、少しでも身近な交流ができるようにと与論町教育委員会の方々と与論小学校の先生方のご協力を得て、テレビ会議システムで交流することができました。当日は、体育館に設置した大きなスクリーンを通して、本校の6年生が与論小学校の5・6年生と交流をし、他の学年は各教室から中継を通して参加しました。本校の6年生は、クイズ形式で北区や学校を紹介すると、与論小の児童は与論島の星空や海、島の伝統などについて紹介し、最後に「ヨロンのかたち」の合唱を披露してくれました。

本校が与論3小学校と姉妹校盟約を結ぶきっかけとなったのは、与論町出身の山下為吉先生が、本校第4代校長として着任された縁から交流が始まり、7年間の在任を通して姉妹校盟約を結ぶ夢を抱いたことによるようです。山下先生は、「東十条小学校のPTAや地域の方は、人情豊かで教育に対する考えも活動も、故郷与論町と良く似ています。そこで、私は、姉妹校盟約の締結を夢見るようになりました。」と語っていたそうです。山下先生が着任されてから11年後の第7代校長石森太郎先生の時、姉妹校盟約が締結しました。平成8年度からは与論3小学校の代表児童が本校で5泊6日の体験学習を行っています。また、夏休みには本校の児童・保護者・教職員等が交流体験学習に訪れます。その他にも、毎年、絵や習字、新聞などの作品を交換し合ったり、運動会では東京奄美会女性部の協力で「与論音頭」や「六調」を踊ったりします。本校の教育目標には、与論の伝統である「誠の心」に学びたいと「誠を尽くす子」という言葉が加わりました。このように年を経るごとに姉妹校交流は歴史を重ね、伝統となって継承されてきています。

さて、イギリス人は肖像画が好きで、ロンドン・ナショナル・ギャラリー(国立絵画美術館)の横にはナショナル・ポートレート・ギャラリーという肖像画専門の美術館があるようです。肖像画は単なる顔の記録ではなく、描かれた人物の内面や時代、描いた画家を表していると考えられ、賞賛も批判もくるめて公人の生きたようすは肖像として人の目に触れて、次の道しるべとなる。つまり、「いかに生きるべきか」のヒントは「いかに生きたか」を知ることであり、だからこそイギリスは肖像の伝統を大事にしているのだそうです。校長室にも歴代校長の肖像写真が飾られています。これを与論町3小学校との姉妹校交流と重ね合わせると、当時の交流一つ一つがどのような思いや願いを抱いて取り組んできたのか、僅かですが見えてくるような気がします。そして、このことは、これからの一步をどのように踏み出せばよいのか、ヒントや方向を示してくれていますし、それは形だけではない誠のある取り組みを示しているのだと思います。これまでの歴史をしっかりと受け止め、次へと生かしつないでいく教育活動を展開して行きたいと思えます。来週で1学期も終わりになります。子供たち、教職員共に、4月からの半年間、いかに過ごしてきたかを振り返り、いかに取り組むかを確かにして2学期からのスタートに備えて参ります。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。



日	曜	校庭開放	10月の行事等
1	木		郵民の日
2	金		
3	土		
4	日	○	
5	月		
6	火		
7	水		特別時程(5時間) 眼科検診(1・3・5年)
8	木		
9	金		終業式 水曜時程(5時間) 体力テスト終
10	土		秋季休業日始
11	日	○	
12	月		秋季休業日終
13	火		始業式 特別時程(5時間) 眼科検診(2・4・6年) クラブ①
14	水		水曜時程(5時間)
15	木		運動会特別時程始 避難訓練
16	金		
17	土		土曜授業③(3・4年のみ公開)
18	日	○	
19	月		ばくばく週間始 委員会⑤
20	火		水曜時程(5時間)
21	水		水曜時程(5時間)
22	木		
23	金		ばくばく週間終
24	土		
25	日	○	
26	月		
27	火		
28	水		水曜時程(5時間)
29	木		
30	金		4時間授業(1-5年) 運動会係前日準備(6年-13:20-15:00頃)
31	土		運動会
11月			
1	日		開校記念日 運動会延期日①
2	月		振替休業日
3	火		文化の日
4	水		水曜時程(5時間) 運動会延期日②(以降順延) ふれあい月間

※10月12日(月)は休業日になります。学校はお休みです。

与論町コロナウイルス感染症対策

寄付金のお礼と報告

先月本校PTAが実施しました与論町コロナウイルス感染症対策寄付金の総額は、

107,061円

でした。皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

「道徳教育について」

道徳主任 豊田 裕美

先日、9月16日に、道徳授業地区公開講座を行いました。今年度は、感染症予防のため、保護者の方には紙面で授業の様子をお知らせするという形にさせていただきました。講師の木村良平先生には、各学級の授業について丁寧にご指導いただき、道徳の授業の基本的な考え方についてご講演いただきました。物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める道徳の授業を積み重ね、学校生活全般を通して、一人一人のよさを伸ばしていきたいと考えています。

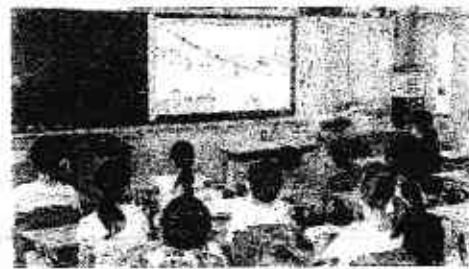
「与論盟約記念集会を終えて」

与論交流委員会 中島 正皓

9月18日(金)に与論盟約記念集会が執り行われました。今年は、与論島との盟約40周年となる節目でしたが、新型コロナウイルスへの対策として、直接の交流は延期となっております。しかし、テレビ会議システムを活用したことで、東十条小と与論島が2000km隔たれてるとは思えないくらい身近に感じることができました。

それぞれの学校の6年生が、地域の特色をクイズを交えて紹介しました。「与論島ってすごい!」「海綺麗!行ってみたい!」といった声も上がり、とても盛り上がりました。与論島の子供たちからは、「ヨロンのかたち」の歌が披露され、教室に素敵な歌声が響きました。

当日の会の様子は、9月22日に発行された東京新聞に掲載されました。



「安全な登下校を」 生活指導主任 中里 奈穂

9月21日(月)~30日(水)まで秋の交通安全運動が行われました。地域の方々も見守りの中、時間を守って、安全に登校することができました。一方で、下校時に横断歩道を斜め横断してしまったり、信号の点滅時に慌てて横断してしまったりなどの様子も見られます。安全な歩き方についての指導を今後もくり返し行ってまいります。また、気持ちのよい挨拶ができる子供たちもいましたが、声が小さかったり、挨拶を返してくれなかったりする子もいました。地域の方々にも元気な声で挨拶ができるように引き続き声かけしていきます。暗くなるのも早くなってまいりました。ご家庭でも登下校中の歩き方や挨拶など話題にしてみてください。